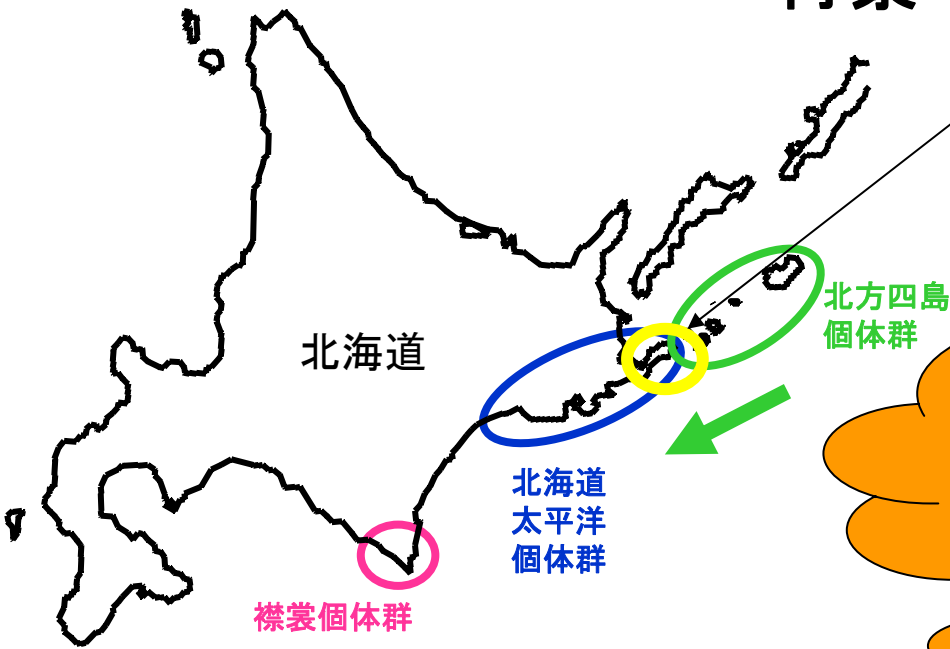


根室半島周辺海域における ゼニガタアザラシ (*Phoca Vitulina stejnegeri*) の個体群動態学的研究



生物生産学科 水圏生物科学研究室
熊谷 文絵

～ 背景 ① ～

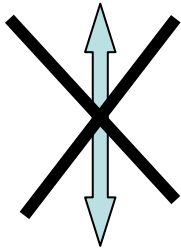


納沙布岬では、サケ定置網に**毎年100頭前後**のゼニガタアザラシが混獲され、死亡

北方四島個体群
→ 納沙布岬周辺に移動?!

✦ 襟裳個体群

交流



+

✦ 北海道太平洋個体群の
生息数

80年調査 …… 約200頭

00年調査 …… 約400頭

北海道太平洋個体群

(Watanabe, 1986)

～ 背景 ② ～

- ✦ 80年調査では、個体数・雌雄・年齢による発育状況などが調べられた(和田ほか 1986)。



北方四島からの
来遊様式を推測！

- ✦ 繁殖期 … ♀が上陸場に残る
(5月～6月頃)

非繁殖期 … ♂が上陸場に残る (新妻 1986)

- ✦ 個体数

1980年代

北海道太平洋個体群約2.5倍



2000年代

北方四島個体群約3倍

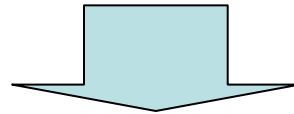
- ✦ 餌資源などの海洋環境 食性分析より…

80年調査と00年代では
漁業資源の変化に伴う食性
が変化

～ 目的 ～

北方四島個体群の来遊様式を、納沙布岬に来遊する個体の側から推測し、その個体群の現状を把握する

2003年～2005年に納沙布岬で回収されたゼニガタアザラシを用いて..



I. 成長様式

II. 年齢構成

III. 混獲日

IV. 混獲場所

を調べ、80年調査の記録と比較検討した。

～ まとめと考察① ～

80年調査

00年調査

年代比較

すべての年齢区分において

♂はすべての年齢区分において

80年調査 > 00年調査

I. 成長様式

♂ > ♀

♂ ≒ ♀

♀は亜成獣において、

80年調査 > 00年調査

→ 00年調査は80年調査と比較して、性的二型(♂ > ♀)が顕著ではない。

→ 特に♂の小型化が目立った

II. 年齢

区分

最高齢

♂・・・16歳

♂・・・12歳

最高齢は♂・♀ともに80年調査

♀・・・25歳

♀・・・20歳

♂の成獣の割合が

80年調査 < 00年調査

→ 00年調査は80年調査と比較して、最高齢の低下

→ ♂の成獣が80年調査より多く来遊

～ まとめと考察①' ～

80年調査

00年調査

年代比較

Ⅲ 混獲日...

♂成獣は、後期の
み混獲

♂Aは前期より
混獲

♂成獣の出現時期が変化

♀成獣は、前期から
後期にむけて割合
が増加

♀Aは前期より
混獲

♂♀ともに成獣の出現割
合が増加

→ ♂♀ともに成獣の来遊が多くなり、
特に♂の成獣は早い時期から来遊

Ⅳ 混獲

ノサップ ≧ オホーツク > 太平洋

場所...

※ 後期にむけてノサップからオホーツク、
太平洋に分散傾向

→ 来遊様式にはほとんど変化なし

～ 考察② ～

<北方四島個体群の状態>

- 性的二型の欠乏(♂≒♀)
- ♂個体の小型化
- ♂成獣の来遊早期化
- ♂♀ともに成獣の来遊
割合が増加

個体数増加や資源量の変化に伴う

- ★ 成長率の低下
- ★ 繁殖場・上陸場の過密化
- ★ 餌競争の激化

などが示唆。

<課題>

- ★ 今後は期間を延ばし、長期に渡って来遊状況を調べる必要がある。
- ★ 過去から変化した母集団の栄養状態や繁殖戦略、繁殖状況をモニターしていく必要がある。